

平成 26 年度第 5 回 社会教育委員会議事録（社会教育課）

平成 27 年 1 月 27 日(火)14 時 30 分～17 時
逗子市役所第 9 会議室

出席者 長坂委員 桑原委員 柴垣委員 大内委員 角田委員 秋山委員 松井委員
山田委員 堀江委員 津留崎委員
(事務局) 翁川課長 荒木主事 辻(記録者)

欠席者 なし

傍聴者 なし

会議次第、提出資料 別添のとおり
事務局から挨拶、資料の説明

報告事項

○第 4 5 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

角田議長：報告事項 1 第 4 5 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

事務局：会議の中で振り返り、山田議員に感想なりいただければと思います。

山田委員：県の会議に出た。スムーズにいき、ご協力ありがとうございました。鎌倉の会場が難しい配置だった。情報交換会（飲み会）に出席し、地元の酒を持ち寄る会で、丹沢の酒を初めていただき、横須賀の南さんとコミュニケーションをとり、有意義だった。分科会では横須賀がうまくやってくれた。各地とも社会教育委員と市とのギャップがあり、思いが食い違っているところがある。第 5 分科会はうまくいった。ご協力に感謝します。

長坂委員：市民と行政とのギャップをどう埋めるかが、社会教育委員の役割だと感じた。分科会では事例の選択が重要である。3 つの事例の中で、特に東御市の大人も子ども向けの HP を見習いたいと思った。行政の仕事として各地の観光資源、伝説、講座など子どもでも分かるように作っているところなど。行政の姿勢がいい。フォローアップが大事だと思った。子育て中のお母さん、高齢者向けサイトもあれば、全体で何をやっているのかわかるようになればいいなと思った。

角田委員：全部で何人来ていますか？

山田委員：全部で 2000 人位だと思います。

○教育委員会定例会について

事務局：資料 9 ページ、古墳にトイレの設置をという要望があった。長柄桜山古墳に一番近いのは郷土資料館などだが、国指定史跡なので中々設置できない。議会の中で

も話に出た。13 ページ、逗子アートフェスティバル（9 月）について何かありませんか。

山田委員：アートフェスティバル全体はわからないが、文化祭に限って言えば、日程が短く前期 10 月、後期 11 月の間に中休みが 20 日間あるので、だれてしまった。反省事項として出した。文化スポーツ課は見ていて大変そうだった。

事務局：文化スポーツ課は文化とスポーツ両方抱えているから大変かもしれない。

議題

○（仮称）社会教育総合プラン(案)について

事務局：市民協働課でも生涯学習活動推進プランを作っている。資料 3 の P.5 共有プランの基幹計画に、5 つの個別計画がぶら下がっている。5 ページ以降膨らませている。変更点としては、P.10.11.12 で表を付け加え、11 月分の資料に整合性を加えている。また P.5 の「社会教育総合プラン」を、「社会教育推進プラン」に変更したい。パブリックコメントの前に、社会教育委員さんからご意見をいただきたい。

P.13 社会教育総合プランの理念に、今回市長の意向で「世界に貢献」という言葉も入り、人作りに重点を置き、子どもも大人も成長していく街作り、学校地域家庭のつながりを目指している。「社会教育主張講座」として、4 月以降元公民館での講座を通して地域自治を高め、防災、ゴミ減量など地域特有の活動を深めていくとしている。

角田委員：P20、2 行目「社会教育出張講座」に直してください。

事務局：ありがとうございます。

津留崎委員：生涯学習推進プランに参加していて、社会教育と生涯学習がだぶっている部分があると思う。なぜ分けるのか？

事務局：住み分けができない。市民目線・要求型が生涯学習、行政目線・主導型が社会教育で、絡み合っている。社会教育は目指す目標が地域である。

津留崎委員：基幹計画は 8 年スパンで計画ですか？個別計画、総合計画もそうですか？

事務局：4 年で見直している。リーディング事業単独だけでは難しいので、社会教育出張講座で、人が地域活動のデビューのきっかけになるようにしたい。

大内委員：線引きは難しい。学校教育と社会教育は色が違う、オーバーラップしながら良くなっていくと思う。

事務局：家庭教育もしかり、連携していけばと思う。社会情勢で 4 年ごとに見直していく。学校教育のスパンは 3 年だが市長の任期に合わせて 4 年としている。評価は課題が残る。

津留崎委員：立場が違うのはわかるが、分けているのが気になる。同じ議論を向こうとこっちでやっていくような気がする。

事務局：5 ページでいうと、基幹計画のなかでは、視点が違う。

津留崎委員：最終的にひとつの目標に向かっているということであれば、納得できる。

事務局：これから4，5節を作っていく。

—大内委員退席—

角田委員：「社会教育総合プラン」を、「社会教育推進プラン」という呼び方に統一するわけですね？

事務局：はい。名称を変えさせていただきます。

津留崎委員：「総合」と（いう言葉）はどこから来たのか？

事務局：「学校教育総合計画」から来ている。社会教育につけるには、しっかりこなかった。

桑原委員：「リーディング事業」とは何ですか？

事務局：総合計画のP.111にあるように、地域に還元できるような人づくりに向けて、堀江さんの様にリーダーになってくれる人材を育てたい、地域デビューのきっかけを作りたいと思っている。

津留崎委員：突然ここに初めて出てくる文言ですか？

事務局：出張講座、文化財保存事業や基幹計画にも同じように出てくる。総合計画に結びつけて、合わせているところがある。

津留崎委員：分かりにくいです。

桑原委員：リーディングとは、最優先事業という意味ですか？これだけ読んでも分かりやすくするように、どこかに載せてはどうですか？

事務局：用語解説にリーディングという言葉の意味を載せたい。

津留崎委員：総合プランから基幹計画、リーディングと構造を上から見ていくと分かるが、下から見ていくと分かりにくい。

事務局：リーディングだけやるのではなく、特に人づくりに向けた講座をやるという位置づけです。でも確かにそうです。

堀江委員：完成版は企画課が作るのか？社会教育課と市民協働課とフォーマットが違うのか？見る方としては文字の使い方等、系統だったものがいいと思う。

事務局：市民協働課は基幹計画も作っているから、体系づけてできた。

秋山委員：それぞれの計画にリーディング事業があるわけですね？

事務局：そうです。5本の柱はそれぞれで出している。

堀江委員：1年後200ページ位のものでできあがるのか？

角田委員：本にするには、フォーマットなどまとめるのか？

津留崎委員：整理するのか？

角田委員：それはやるでしょう？

事務局：企画福本課長に伝えます。

○逗子教育ビジョン(案)について

事務局：資料4「逗子市総合計画」や「生涯学習推進プラン」を補完するものとして位置

づけられている。

津留崎委員：「共に学び共に育つ教育の街」と「つながりに気づきつながりを築く人づくり」というのは、どうとらえていいのかわからない。

事務局：基幹計画では総合計画に合わせている。文化、スポーツ、学校教育、社会教育ビジョンも基本ビジョンとして位置付けている。

津留崎委員：学校教育、総合プランとは違うのですか？

事務局：全国的に教育委員会は学校教育に特化している。社会教育、生涯学習教育が置かれてはいるけれど、補助的施行でやっている。

長坂委員：第2編の基本構想に入るのですか？学校教育とは違うのですか？

事務局：「つながりに気づき、つながりを築く」というのは、4段階の発達段階、ライフスタイルに絡み合っている。

堀江委員：今日の議題にするということは、教育委員の中で意見を出せば、教育委員会に言ってくれるということですか？

事務局：大内委員も校長会で話題になっていると思う。確認して欲しいということです。

長坂委員：別の本としてできあがる訳ですね？中身はいいが1つ目「他者とのつながり」について、他者とは彼らのこと、異世界のことであるので、汎用的でない。2つ目総合計画の中で「世界とつながる」という言葉が入っていないのは気になる。

津留崎委員：「他者」でなく「人」でいいのでは？

長坂委員：他者の例示、身内を他者と言っているのが誤りである。

堀江委員：こういうのを作りますという、ご挨拶なのかな、仮置きなのかなと思った。

事務局：はい、スタートを切るというか、勉強会を開きながら。

津留崎委員：所信声明みたいなものなのか？

松井委員：一度全体で話し合っって進めるのは難しいですか？人づてで伝えると真意が伝わらないのでは？

長坂委員：そこはしっかり伝えてほしい。

事務局：伝えます。

長坂委員：1「他者」という言葉と、2「世界とつながる」という言葉がない点を確認してほしい。

○平成27年度各種団体補助金について

事務局：社会教育法第13条により報告を行うもの。今回、逗子市行政改革基本方針において、補助金の整理合理化が行われた。逗子市文化協会については、アートフェスティバルの実行委員会に補助金を出さず関係で26年度は要求しない。逗子市体育協会の逗子市武道演武会については隔年開催のため26年度はなし、体育協会のジュニアスポーツについては前年度まで委託事業であったものを補助金交付になったことから増額した。逗子市地

域婦人団体連絡協議会については見直しにより廃止となった。(昨年の)

事務局：連絡協議会はなくなった、以前各地区にあったが、高齢化により衰退している。

角田委員：略して「ちふれん(地婦連)」と言っていたよね。

堀江委員：シーリングは出ているの？

事務局：はい、補助金には影響ありません。

○平成27年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会について

事務局：日時 11/25 場所 逗子さざなみホール。アトラクションは市町村の自由です。まとまりのあるこのメンバーでやっていきたいと思っている。130名ほどの会場なので、舞台を揚げて出来るものを考えていきたい。文化協会山田委員紹介して頂ければありがたい。

角田委員：太鼓はどうだろうか？会場が狭くていけないか。

山田委員：開成の太鼓でも響くからダメだろう。

堀江委員：ソーラン節、被災地届け隊・・・

事務局：3月の教育委員会会議で決めていきたい。事例発表の議題が決まれば、アトラクションは独立した形でできる。大和市では朗読だった。開会・閉会の言葉、事例発表は社会教育委員の裁量で、例として社会教育総合プランについて山田委員、堀江委員にパフォーマンスをお願いできればと思います。

山田委員：間に合わないから、今やっていることがいい。市民の声を聞くパブリックコメントの結果とか。

事務局：長坂委員の「社会教育と市民協働の連携」とか。

秋山委員：語る人、民話などやれる人を知っている。琵琶の語り、源氏物語。演目について前もって伝えておけばできる。

津留崎委員：琵琶聞いてみたい、開場にちょうどいい。

角田委員：不如帰がいい、逗子だし。お金はあるのか？

事務局：あります。

秋山委員：交通費ぐらいでいいと思う。

角田委員：アトラクションは最後の？事例発表だけでは飽きてしまう、大和市は女優さん車椅子の方の朗読だった。

事務局：最初と最後にアトラクションを何かやったほうがいいと思う。委員さんには勉強会等負担をかけてしまいますが。山田さん、長坂先生に逗子ならではのものを、ご検討お願いしたいと思います。

山田委員：はいわかりました。

松井委員：お土産に逗子の未来チョコなんていいな。

○その他

・社会教育関係団体登録の廃止について

平成27年4月より市民交流センターの施設使用料の減免措置の廃止に伴い、社会教育関係団体登録制度についても廃止になりました。

・今年実施した、社会教育講座、人権教育講演会の報告について

⇒1/17 チラシデザインに堀江委員のご協力いただいた、
松井委員にはチラシの配布協力いただいた。

17日は山田委員、松井委員にご出席いただき、24日は山田委員のご家族様が来てくださいました。

⇒長坂先生に一言いただく

⇒ご感想：山田委員、松井委員

・講座アンケート(案)について

事務局：12/2 アンケート部会で検討し、チェック方式で時間をかけずに書けるよう、質問・デザインも修正しました。新年度から公民館の講座が社会教育出張講座となるので、そのアンケートも検討していく予定です。藤沢公民館のスタイルを参考にできればと思っています。

津留崎委員：(二枚のうち) 上が最新？

堀江委員：コメントは2ついらないかな？最後だけでいい。点数は最後に持ってくる。

桑原委員：書く欄は作っておく。

長坂委員：80歳以上を項目に入れたのはすごい。

津留崎委員：分類に最新のもの、SNSとか入れるといいのでは？

堀江委員：整理の仕方について、チェックする数を4つまでとか(数を)入れる、文化芸術でくくったらいいな。

角田委員：これ以上増やさないほうがいい。

堀江委員：(受けてみたいプランに) 社会教育に関するものを入れた方がいい。

津留崎委員：福祉より、ボランティアと書いたほうがいい。現代的な課題を具体的な言葉で載せると、今後やることに繋がる。

事務局：次回事前1週間くらい前に、ご意見をください。

角田委員：このアンケートはいつから使うの？

事務局：4月からです。

・報告

事務局：4月から公民館の転用が始まります。使用料団体登録減免がなくなったので登録団

体に連絡します。時間は2時間ベース、利用団体2年間料金が半額、交流センターは行事登録、先行予約ができるようになり、今までよりパワーアップしネットワークが進みます。

山田委員：交流センターの管轄はどこ？

事務局：市民協働課です。

山田委員：公民館は何時から使える？

事務局：時間は同じ、9～21時、利用は変わりません。講座はうちがやります。管轄が違ふようになります。

・12月2日に部会を行った

・第6回の会議日程について 3/23

・来年度の委員会開催日について（希望する月、曜日、時間帯）

事務局：曜日を決めて 長坂：木がダメ

角田委員：木がダメ、金の午後は高齢者の・・・

秋山委員：月がダメ

津留崎委員：水がダメ

事務局：では会議室は、火曜日をとります。

・社教連のアンケート回収